

競技注意事項

1. 開催日時 令和5年4月29日（土）4月30日（日） 競技開始 1日目9：00、2日目9：00
2. 会場 三ツ沢公園陸上競技場
3. 規則 2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会申し合わせ事項に準じておこなう。
4. 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラム誤記の訂正は8時30分までに本部記録係へプログラムに添付してある所定の用紙で届ける。
5. 練習
 - ・競技場使用上の注意に従い、個別に行うこととする。ただし、投擲・跳躍の練習は審判の指示に従って行うこと。なお、本部のアナウンスに注意し、その指示に従うこと。
 - ・フィールドの公式練習は、全て試技順に呼び出して行う。
 - ・競技者以外の練習は認めない。
6. 競技用靴について
 - ・2023年度日本陸上競技連盟競技規則 TR5.2 及び(国内)競技用靴に関する主要規則を適用する。靴底の厚さが800m未満のトラック種目（ハードル含む）は20mm、800m以上のトラック種目は25mmを超えるシューズを使用することができない。本競技会において、フィールド専用シューズのみ適用除外とする。
7. 招集
 - ・競技順序記載の一次コール時間に、招集所で本人がコール用紙に自分で○をつける。
（一次コール） このとき、腰ナンバー標識を受け取り、アスリートビブスとスパイクの確認を行う。（ピンの長さは9mm以下。ただし走高跳は12mm以下）
 ※招集所には、本人のみで行く。付き添いの同行は認めない。
 - ・競技中に他の種目の招集に行く場合は、代理人を認める。
 - ・一次コール終了後、競技順序記載の最終コール時刻に、各種目の最終コール場所で最終確認を受ける。**（最終コール）**
 - ・招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
8. リレー
 - ・オーダー用紙提出は、競技順序に記載されている提出時間に招集所へ提出する。
 - ・競技者は、1～4走者のそれぞれ指定された場所へ最終コール時刻までに集合する。
9. アスリートビブス
 - ・胸・背に確実にとめる。ただし跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
 - ・布の大きさは、横240mm、縦160mmとし、数字は高さ10cm以上、幅5cm以上で太く飾り文字は使わない。白布には番号だけを記入し、学校名等は記入しない。男子は黒字、女子は赤字。
 - ・トラック種目では大会主催者が用意した腰ナンバー標識を使用する。選手は招集所で受け取り、右腰に付けておく（リレーは4走者のみ）。競技後に回収はしない。
10. 計測
 - ・トラック種目はすべての競技者のタイムを計測する。ただし、中長距離種目は競技進行上、制限タイムを設け、下記の時間を超えた場合はただちに競技を終了する。

| | 800m | 1500m | 3000m |
|----|-------|-------|--------|
| 男子 | 2分30秒 | 5分05秒 | 10分45秒 |
| 女子 | 2分50秒 | 5分45秒 | — |

- ・フィールド計測ライン及びバーの上げ方は下記の通りとする。ただし当日の状況により変更することがある。
- ・走幅跳・砲丸投については、予選通過記録を設ける。

| | 男子 | | 女子 | |
|-----|-----------------------------|------|-----------------------------|------|
| 走幅跳 | 計測ライン | 5m00 | 計測ライン | 4m00 |
| | 予選通過記録 | 5m60 | 予選通過記録 | 4m60 |
| 砲丸投 | 計測ライン | 7m50 | 計測ライン | 7m00 |
| | 予選通過記録 | 9m50 | 予選通過記録 | 9m50 |
| 走高跳 | 1m45（練習）1m50（5cm）・1m75（3cm） | | 1m25（練習）1m30（5cm）・1m45（3cm） | |
| 棒高跳 | 2m70（10cm）・4m00（5cm） | | | |

- 1 1. スタート
- ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。
 - ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられることがある。本大会は種目ごとの累積とし、同一種目のイエローカード2枚で当該種目のみ失格（レッドカード）とする。但し、競技会からは除外しない。
 - ・3000mについては2段スタートで行う。
 - ・800mのスタートについては1レーンに1～2名入れてセパレートレーンで行う。
- 1 2. 予選通過トラック
- ・全ての競技者のタイムを比較し決勝進出を決める。同タイムの場合細部まで拡大して読みとり着差をつける。それでも決定できない場合、100m・200m・400m・ハードルは抽選とし、800m・1500mは次のラウンドに進出できる。
- フィールド
- ・走幅跳・砲丸投は上記の記録を予選通過記録とし、これに達した場合は残りの試技はおこなわない。決勝は、すべての記録を計測する。走高跳・棒高跳は、連続する3回の失敗試技で、競技終了とする。
- 1 3. 順位決定についてトラック
- ・すべての競技者のタイムを比較し順位を決める。同タイムの場合、写真を拡大し細部まで読みとり決定する。それでも決定できない場合は同順位とする。
- 1 4. 表彰
- ・表彰式を行う。各種目優勝者には選手権章・賞状、2位～8位までに賞状を授与する。
- 1 5. 開閉会式
- ・開閉会式は、通告のみ行う。
- 1 6. コーチングエリアの使用方法
- ・直接声かけ等をする時間のみにとどめ、長時間コーチングエリアにとどまらない。
 - ・コーチングエリアでの写真・ビデオ撮影等は認めない。
 - ・コーチングエリア前に、ウォーミングアップエリアがある場合、選手はその手前で指示を受けること。
 - ・役員に断りなく競技場所を離れてコーチングエリアに移動した場合、警告の対象となる。
 - ・スタンドの上下にコーチングエリアを設置している場合、スタンド下のコーチングエリアの使用は、競技時間中に競技役員を行っている審判が、一時競技役員を離れコーチングする場合のみ使用を認める。
- 1 7. 全般に渡る注意点
- ・3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を回避する行動をとる。
 - ・競技場内、練習場、招集場所には、付き添わない。
 - ・メインスタンドへの、のぼり旗・応援横幕の設置は禁止する。
 - ・招集後は荷物をビニール袋に入れ、所定の場所に置く。ビニール袋に学校番号を書くこと。
 - ・マスクの着用については、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とするが、感染症対策としてマスクの着用が効果的である場面では、協力を求めることがある。
- 1 8. その他
- 競技場の利用のしかた
- ・「三ツ沢競技場使用上の注意・お願い」参照。

